



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年1月24日

上場会社名 株式会社 オービックビジネスコンサルタント 上場取引所 東  
コード番号 4733 URL https://www.obc.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 成史  
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長管理本部長 (氏名) 和田 弘子 TEL 03-3342-1881  
四半期報告書提出予定日 2024年2月2日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	30,432	23.3	13,259	29.3	14,108	27.2	9,649	27.4
2023年3月期第3四半期	24,684	△3.0	10,258	△11.3	11,093	△8.1	7,571	△8.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	128.36	—
2023年3月期第3四半期	100.72	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	188,076	144,902	77.0
2023年3月期	179,314	139,788	78.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 144,902百万円 2023年3月期 139,788百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2024年3月期	—	35.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	45.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2024年1月24日）公表いたしました「2024年3月期配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	18.7	16,860	14.6	17,950	13.4	12,440	12.7	165.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	75,404,000株	2023年3月期	75,404,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	230,206株	2023年3月期	232,106株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	75,172,925株	2023年3月期3Q	75,170,223株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、コロナ前を上回るインバウンド需要や内需のゆるやかな回復等、社会経済活動の動きが活発になったものの、一方では、国際情勢不安、円安傾向、物価高の上昇などが依然として続いており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社の属する情報サービス産業においては、2023年10月からインボイス制度が開始され企業業務のデジタル化が大きく進むなど、企業の課題解決に貢献しDX化の実現を後押しするクラウドサービスの提供に、より強い期待が寄せられています。

このような状況の中、当社は「顧客第一主義」を念頭に置き、「業務にイノベーションを お客様に感動を」ミッションとして掲げ、広く顧客及びパートナー企業に、今まで以上に利便性や信頼性を備え、高い満足をいただけるクラウドシステムや業務サービスの企画・開発、サポート&サービスを提供することに努め、企業のDX化を後押しする活動を行ってまいりました。

営業活動においては、制度改正後もさらなるお客様の経理DX化を支援するため、「奉行DIGITALIZE 2023」を全国で開催し、バックオフィス業務効率化に関わるトレンド情報のご提供を行ってまいりました。

また、ご提供するサービスに関しては、令和6年度より開始される住民税「特別税額徴収通知」の電子データ受取を『奉行クラウド』で対応し、従業員に自動配付できる体制を提供する等、付加価値を高めて参りました。

このような活動の結果、当第3四半期累計期間における経営成績は次のとおりとなりました。

売上高は304億32百万円（前年同四半期比23.3%増）、営業利益は132億59百万円（同29.3%増）、経常利益は141億8百万円（同27.2%増）、四半期純利益は96億49百万円（同27.4%増）となりました。

売上高が同23.3%、営業利益が同29.3%、経常利益が同27.2%、四半期純利益が同27.4%それぞれ増加した主な要因は、クラウドソリューションへの移行施策として奉行クラウド体験フェア等に取り組んできた結果、及び「インボイス制度」「改正電子帳簿保存法」等の制度改正の特需によるものであります。

### （2）財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,551億43百万円となり、前事業年度末に比べ74億31百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が82億5百万円、受取手形が12億3百万円それぞれ増加し、売掛金が19億73百万円減少したことによるものであります。固定資産は329億32百万円となり、前事業年度末に比べ13億29百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が10億32百万円、ソフトウェアが5億21百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,880億76百万円となり、前事業年度末に比べ87億61百万円増加いたしました。

##### （負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は359億53百万円となり、前事業年度末に比べ27億26百万円増加いたしました。これは主に前受収益が29億48百万円、未払消費税等が3億68百万円それぞれ増加し、未払法人税等が6億円減少したことによるものであります。固定負債は72億19百万円となり、前事業年度末に比べ9億21百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が6億75百万円、退職給付引当金が2億45百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は431億73百万円となり、前事業年度末に比べ36億47百万円増加いたしました。

##### （純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,449億2百万円となり、前事業年度末に比べ51億13百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が43億87百万円、その他有価証券評価差額金が7億16百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は77.0%（前事業年度末は78.0%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は1,426億50百万円となり、前事業年度末と比較して82億5百万円の増加となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、142億80百万円（前年同期は87億70百万円の収入）となりました。主なプラス要因は、税引前四半期純利益140億94百万円、前受収益の増加額29億48百万円等であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額45億88百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、8億11百万円（前年同期は94百万円の支出）となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出7億76百万円、有形固定資産の取得による支出53百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、52億62百万円（前年同期は52億62百万円の支出）となりました。主な要因は、配当金の支払額52億62百万円等によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年10月24日の「2024年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	134,454,233	142,660,192
受取手形	2,697,532	3,901,226
売掛金	10,239,767	8,266,186
商品及び製品	105,112	91,833
仕掛品	690	948
原材料及び貯蔵品	50,353	47,351
前払費用	155,838	162,541
未収入金	8,999	8,618
その他	5,366	10,552
貸倒引当金	△5,655	△5,507
流動資産合計	147,712,239	155,143,944
固定資産		
有形固定資産	1,146,001	911,492
無形固定資産	620,990	1,142,355
投資その他の資産		
投資有価証券	28,869,664	29,901,667
関係会社株式	9,196	9,196
長期未収入金	77,680	50,106
敷金及び保証金	928,969	939,760
会員権	27,980	27,980
破産更生債権等	1,344	1,292
貸倒引当金	△79,374	△51,748
投資その他の資産合計	29,835,459	30,878,253
固定資産合計	31,602,452	32,932,102
資産合計	179,314,691	188,076,046

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	380,203	311,043
未払金	1,132,250	1,226,049
未払費用	1,106,738	949,455
未払法人税等	2,324,446	1,723,716
未払消費税等	279,014	647,101
預り金	101,567	245,293
前受収益	27,845,733	30,793,791
役員賞与引当金	50,000	40,000
その他	7,326	17,429
流動負債合計	33,227,281	35,953,880
固定負債		
繰延税金負債	1,911,960	2,587,679
退職給付引当金	3,280,582	3,526,157
長期未払金	786,693	786,693
資産除去債務	319,411	319,467
固定負債合計	6,298,648	7,219,998
負債合計	39,525,929	43,173,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,519,000	10,519,000
資本剰余金	18,429,797	18,438,141
利益剰余金	98,863,779	103,250,803
自己株式	△224,276	△222,915
株主資本合計	127,588,299	131,985,029
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,200,462	12,917,138
評価・換算差額等合計	12,200,462	12,917,138
純資産合計	139,788,761	144,902,168
負債純資産合計	179,314,691	188,076,046

（2）四半期損益計算書  
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
売上高	24,684,824	30,432,825
売上原価	4,273,545	5,559,787
売上総利益	20,411,279	24,873,038
販売費及び一般管理費	10,152,752	11,613,470
営業利益	10,258,526	13,259,567
営業外収益		
受取利息	353	457
受取配当金	800,290	800,950
投資有価証券売却益	19,383	—
その他	27,529	49,506
営業外収益合計	847,556	850,915
営業外費用		
投資有価証券売却損	—	529
投資事業組合運用損	11,081	—
貸倒引当金繰入額	—	1,282
その他	1,403	182
営業外費用合計	12,484	1,994
経常利益	11,093,598	14,108,489
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
棚卸資産廃棄損	—	13,583
特別損失合計	—	13,583
税引前四半期純利益	11,093,598	14,094,906
法人税、住民税及び事業税	3,093,710	4,086,061
法人税等調整額	428,574	359,720
法人税等合計	3,522,285	4,445,781
四半期純利益	7,571,312	9,649,124



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	11,093,598	14,094,906
減価償却費	411,252	465,252
棚卸資産廃棄損	—	13,583
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	277,404	245,575
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,000	△10,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,500	△27,773
受取利息及び受取配当金	△800,643	△801,408
投資有価証券売却損益 (△は益)	△19,383	529
投資事業組合運用損益 (△は益)	11,081	—
売上債権の増減額 (△は増加)	873,626	769,886
棚卸資産の増減額 (△は増加)	31,613	2,439
前払費用の増減額 (△は増加)	3,838	△6,702
仕入債務の増減額 (△は減少)	△101,165	△69,159
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△475,101	368,086
未払費用の増減額 (△は減少)	△204,814	△157,282
前受収益の増減額 (△は減少)	2,328,747	2,948,057
その他	77,790	231,694
小計	13,482,344	18,067,683
利息及び配当金の受取額	800,643	801,408
法人税等の支払額	△5,512,725	△4,588,386
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,770,263	14,280,706
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の売却による収入	94,312	142
長期未収入金の回収による収入	—	28,908
有形固定資産の取得による支出	△88,510	△53,607
無形固定資産の取得による支出	△124,566	△776,630
敷金及び保証金の差入による支出	△1,325	△16,209
敷金及び保証金の回収による収入	25,985	5,417
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,104	△811,978
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△5,262,234	△5,262,195
自己株式の取得による支出	△162	△574
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,262,397	△5,262,769
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,413,761	8,205,958
現金及び現金同等物の期首残高	124,459,289	134,444,233
現金及び現金同等物の四半期末残高	127,873,051	142,650,192

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社は、ソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 3. 補足情報

当社は、ソフトウェアの販売から導入・保守サービスまでを一貫してユーザーに提供しております。これらの事業活動においては、研究開発活動、営業活動ともに密接不可分なものであるため、ソフトウェア事業の単一セグメントとしております。つきましては、補足情報として、品目別に「プロダクト」（ソリューションテクノロジー及び関連製品）と「サービス」についての販売実績を下記のとおり開示いたします。

## 四半期販売の状況

(単位：千円・%)

品 目	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		前年同期比較	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	同期比
プロダクト	13,178,157	53.4	18,337,655	60.3	5,159,498	39.2
ソリューションテクノロジー	10,942,086	44.3	15,588,972	51.2	4,646,885	42.5
クラウド	9,082,345	36.8	13,415,744	44.1	4,333,398	47.7
オンプレ	1,859,740	7.5	2,173,227	7.2	313,486	16.9
関連製品	2,236,070	9.1	2,748,683	9.0	512,612	22.9
サービス	11,506,667	46.6	12,095,169	39.7	588,502	5.1
保守	9,785,004	39.6	9,512,649	31.2	△272,354	△2.8
その他サービス	1,721,662	7.0	2,582,519	8.5	860,857	50.0
合 計	24,684,824	100.0	30,432,825	100.0	5,748,000	23.3